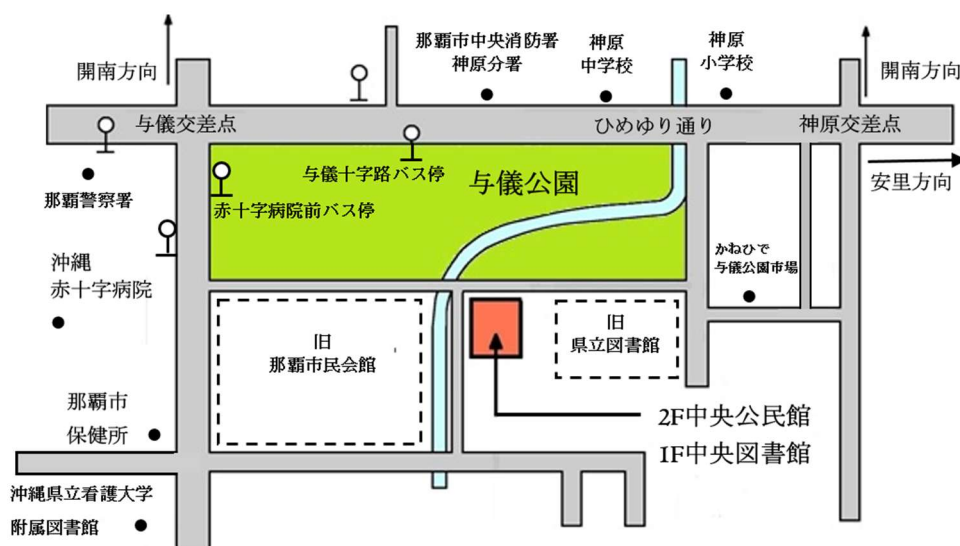


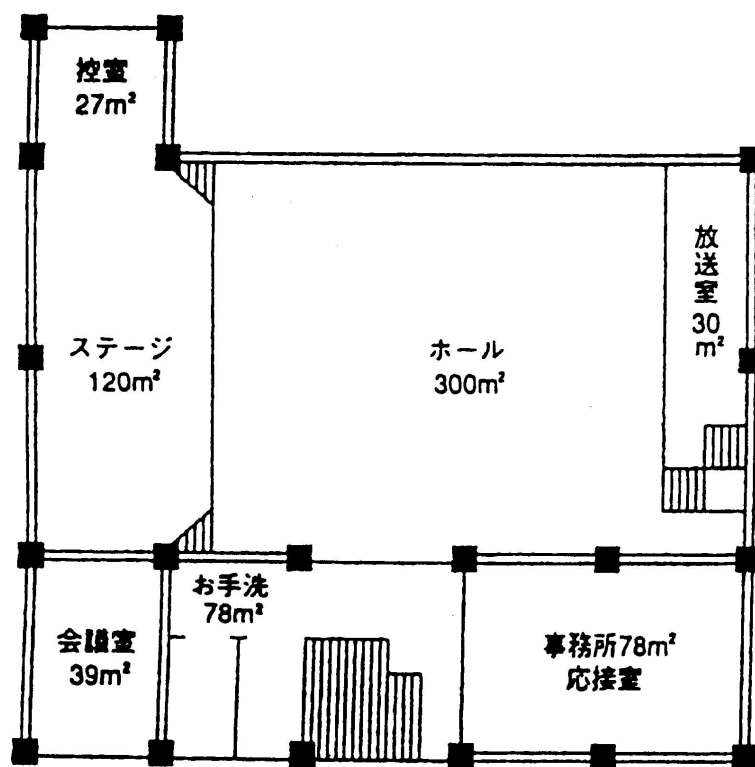
中央公民館



〒902-0064 那覇市寄宮 1-2-15
TEL 917-3442 FAX 835-4707

利用施設のご案内

〈中央公民館平面図〉（2階）



部 屋 名	収 容 人 数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	300 人程度	学習会・研修会・講演会・発表会・展示会等 (ピアノ・スクリーン・テーブル・イス・移動黒板)
会 議 室	15 人程度	学習会・研修会・会議等 (テーブル・イス・黒板)

I 中央公民館の沿革

昭和50年 7 月 11 日	那覇市公民館条例が公布された。 (当条例は昭和50年 8 月 1 日から施行)
8 月 1 日	那覇市中央公民館が設置された。 (当施設は米国民政府が「那覇琉米文化会館」として、昭和44年 7 月に建設し、文化活動の場として市民へ利用されてきたが、本土復帰と同時に日本政府に譲渡された。その後、昭和48年 6 月 22 日に那覇市へ譲渡され、那覇市企画部の所管のもとに那覇市文化センターとして活用されてきた。昭和50年 8 月 1 日に教育委員会に移管され、1 階に那覇市立図書館と那覇市立視聴覚ライブラリーが、2 階に那覇市中央公民館がそれぞれ設置された。) 館長(兼務) 山元芙美子、主査 与儀喜常、主事 佐久本全が発令された。 社会教育指導員 伊良波長正、国吉千代子が配置された。 那覇市中央公民館の開館式が挙行された。
10 月 1 日	那覇市公民館運営審議会委員10人が委嘱された。(以後 2 年毎に改選)
10 月 7 日	市民講座が開始された。
11 月 7 日	第 1 回那覇市公民館運営審議会が開かれ、会長に安里盛吉氏、副会長に富名腰朝氏が選任された。
12 月 6 日	沖縄県公民館大会が那覇市で開催された。
昭和51年 5 月 30 日	放送機材が中央公民館に整備された。
8 月 20 日	館長 山元芙美子が辞職し、新たに館長(兼) 金城幸明が発令された。
9 月 1 日	おかあさんのテレビ学級が開設され、放送利用が開始された。
10 月 1 日	主事が職名変更になり社会教育主事が発令された。
昭和53年 1 月 1 日	館長 金城幸明が配置替えにより、館長(兼) 浦本茂則が発令された。
昭和54年 5 月 1 日	館長(兼任) 浦本茂則が専任館長として発令された。
昭和57年 5 月 1 日	館長 浦本茂則が配置替えにより、館長 長堂忠一が発令された。
昭和59年 5 月 1 日	定数増(主事 1)
昭和61年 2 月 16 日	第33回沖縄県社会教育研究大会において、優良公民館として表彰される。
4 月 1 日	主事が公民館主事に職名変更された。
平成元年 4 月 1 日	館長 長堂忠一が配置替えにより、館長 国場幸忠が発令された。
平成 2 年 4 月 1 日	館長 国場幸忠が退職により、館長 上原武雄が発令された。
6 月 3 日	中央公民館利用団体連絡協議会が結成された。
12 月 7 日	第20回沖縄県公民館研究大会において、優良公民館として表彰される。
平成 3 年 2 月 1 日	創立15周年記念誌が発行された。
平成 4 年 4 月 1 日	館長 上原武雄が配置替えにより、館長 佐久本全が発令された。
平成 6 年 9 月 21 日	第45回九州地区公民館研究大会(沖縄大会)が、那覇市で開催される。
平成 7 年 4 月 1 日	館長 佐久本全が配置替えにより、館長 山内昌志郎が発令された。
平成 7 年 8 月 1 日	館長 山内昌志郎が配置替えにより、館長 伊元源治が発令された。
平成 8 年 4 月 1 日	公民館主事 1 減に伴い社会教育指導員 1 増
平成10年 11 月 2 日	第51回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。

平成12年4月1日	館長 伊元源治が退職により、館長 前原信喜が発令された。
平成13年11月16日	全国公民館連合会設立50周年記念式典において、館長 前原信喜が全国公民館優良職員表彰を受ける。
平成14年4月1日	館長 前原信喜が配置替えにより、館長 高江洲盛雄が発令された。
平成15年4月1日	主査1増（時限配置）
平成16年3月23日	公民館条例施行規則が改正され、平成16年4月1日より、若狭公民館に非常勤館長が配置された。
平成16年3月31日	主査1減（時限配置解除）
平成16年11月9日	全国公民館連合会より、館長 高江洲盛雄が全国公民館優良職員表彰を受ける。
平成16年12月27日	公民館条例の改正により公民館運営審議会が廃止された。
平成17年4月1日	館長 高江洲盛雄が退職により、館長 新垣紀夫が発令された。 社会教育指導員1減
平成19年4月1日	館長 新垣紀夫が配置替えにより、館長 入慶田本浩徳が発令された。 社会教育指導員1増
平成21年4月1日	館長 入慶田本浩徳が退職により、館長 前原信喜が発令された。
平成22年4月1日	館長 前原信喜が参事兼館長として発令された。
平成22年11月11日～12日	第61回九州地区公民館研究大会（沖縄大会）が、那覇市（中央公民館ほか7会場）で開催される。
平成23年10月20日	第33回全国公民館研究集会 in さが（佐賀県）において、参事兼館長 前原信喜が全国公民館永年勤続職員表彰を受ける。
平成24年4月1日	参事兼館長 前原信喜が退職により、館長 手登根朗が発令された。
平成26年4月1日	館長 手登根朗が配置替えにより、館長 具志真孝が発令された。
平成27年4月1日	主任公民館主事（主事級）1減、社会教育指導員1減
平成28年3月	中央公民館開館40周年記念誌が発刊された。
平成28年4月1日	館長 具志真孝が退職により、館長 古塚達朗が発令された。
平成30年11月15日～16日	第69回九州地区公民館研究大会（沖縄大会）および第48回沖縄県公民館研究大会（那覇大会）が、那覇市（牧志駅前ほしぞら公民館ほか6会場）で開催される。
平成31年4月1日	館長 古塚達朗が退職により、館長 照屋満が発令された。
令和4年4月1日	館長 照屋満が退職により、館長 砂川龍也が発令された。
令和6年4月1日	館長 砂川龍也が退職により、館長 伊禮道子が発令された。

Ⅱ 令和6年度中央公民館事業目次

1 学習風景（写真）	9
2 成人一般対象事業	
〔1〕 市民講座	
◇「宇宙の学校®」宇宙教育指導者セミナー	10
◇「10・10空襲について知っていますか」～あの日から80年が経過した今～	11
◇からだところをリフレッシュ！市民ウォーキング講座	12
◇一杯のコーヒーから始まる～この島で育った作物がこの島の人と文化を豊かにしていく～	13
〔2〕 成人講座	
◇腸活・薬膳・発酵パワー（全4回）	14
3 高齢者対象事業	
〔1〕 高齢者学級	
◇スマホ講座アンドロイド編 あなたの「困った」を解決！	15
◇ギターでうたごえ	16
4 青少年対象事業	
〔1〕 少年教室	
◇グラタン作ってみました♪	17
〔2〕 親子ふれあい教室	
◇おや子でレッツ♪eスポーツ	18
◇「ファミリーで自然あそびin与儀公園」～リュウキュウコノハズクに会えるかも!?～	19
5 家庭教育事業	
〔1〕 家庭教育学級	
◇「宇宙の学校®」IN中央公民館	20
◇読み聞かせボランティア養成講座～入門編～（全5回）	21
◇「ワタシ磨きのヒントをつかむ」～心の砂漠に絵本を一滴～	22
〔2〕 乳幼児学級	
◇子育て中のほっとひといき～与儀公園の自然に触れてみませんか～	23
◇応急手当講習	24
◇babyと一緒に産後ボディメイクヨガ	25
◇リトミック&クリスマスコンサート	26

6 その他の事業

〔1〕 地域連携事業

◇ガーブ川にこいのぼりを泳がそう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

◇子どもの居場所「小学生も中学生も遊びにおいでよIN夏休み」自由に遊ぼう

・自習室開放、お習字教室、かいがきょうしつ、ニュースポーツ体験、英語の
読み聞かせ（アルファベットで遊ぼう）・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

〔2〕 地域学習支援講師派遣事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

7 公民館まつり・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

1 学習風景



成人講座

腸活・薬膳・発酵パワー



親子ふれあい教室

「ファミリーで自然あそび in 与儀公園」～リュウキュウコノハズクに会えるかも!!～



地域連携事業

ガープ川にこいのぼりを泳がそう



子どもの居場所

「小学生も中学生も遊びにおいでよ IN 夏休み」
お習字教室



高齢者学級

ギターでうたごえ



乳幼児学級

応急手当講座

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		「宇宙の学校®」宇宙教育指導者セミナー							
事業概要		NPO法人子ども・宇宙・未来の会から講師を招き、宇宙教育や「宇宙の学校®」、社会教育活動に興味がある人や実践してしている人を対象に、宇宙教育の理念、活動上の安全について学び、教材の演習を行う。							
現状・課題		自然科学や宇宙科学を楽しく児童生徒に教えられる指導者の育成が求められている。他府県に比べて、沖縄では宇宙教育に関する指導者がとても少なく、触れる機会もほとんどない。							
事業目的 めざす姿		宇宙や地球環境、自然科学などを題材に体験的に学び、子どもたちを感受性豊かに知的に育てていく人材を育成する。							
対 象		社会教育の基礎やスキルアップを目指す人。または宇宙教育に興味のある人							
募集人数等		定員：20人 申込：14人（うち受講決定数14人） 参加延べ人数：13人 【申込率70%・参加率93%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	5月25日(土)	10:00 ～ 15:00	中央公民館ホール	13	5	8	0	
内 容	01	開校式・オリエンテーション 宇宙教育の理念・安全教育 教材実習 閉校式							
講 師	稲葉 茂（NPO法人子ども・宇宙・未来の会副会長） 【助手】五十嵐 晴美								
【講座の様子・感想】 ・実践することで理解が深められた。好奇心が掻き立てられ、楽しく学べました。 ・宇宙と地球の繋がり、月の探査が資源開発と密接にかかわっていること、子どもたちへ教える際に気をつけること。とても多くのことを知ることができました。今日学んだことをどう生かそうか考え、楽しんで行きたいです。 ・アンケート結果（満足度）100%									
【成果】 ・受講生は、教職員や学童職員、理学部の学生など子どもの教育に興味を持つ人々となっており、「宇宙を教材に子どもたちの想像力を育てていきたい」や「同じ目線で学ぶことが励みになった」などの意見があった。 ・受講生同士の会話の中でも「実際に子どもと体験するときは～」の言葉があり、指導時のイメージが出来ている人が多い。「今後も学んだことを生かし実践してみます。」など前向きな意見をたくさんいただいた。 ・「現場でどう実践するか」、「対象年齢によって学びをどう変化させるか」、講座が終わっても講師に質問する姿が見られ、指導者向けの講座が必要とされていると感じた。									





2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		「10・10空襲について知っていますか」～あの日から80年が経過した今～								
事業概要		那覇市の歴史に興味関心を持つ。1944年10月10日に、那覇市の90パーセント以上が消失したと言われている10・10空襲について専門家から説明を受ける。那覇市歴史博物館の「10・10空襲」の展示資料や写真などを見学し、体験者の話を聞く。								
現状・課題		戦後79年が経過し、戦争体験者も減り、戦争体験者から直接聞く時代は終わろうとしている。平和教育において、日本及び沖縄の戦争体験の継承は、最重要な課題である。10・10空襲は沖縄戦の前哨戦と言われており、今年80年目になるにあたって、改めて歴史を振り返って学ぶことで新たな知見を得ることが必要である。								
事業目的 めざす姿		市民が「平和の担い手」としての自覚を持ち、互いに支え合いながら平和な社会を築く意識を高めることを目指す。これにより、市民一人ひとりが日常から平和を考え、行動する習慣を持つことで、恒久的な平和を市民社会全体に根付かせる。また、戦争体験者の話を継承し次世代に伝える活動や、平和講座・イベント等の知識を深める活動に参加するなど、実践意欲を持つ市民の育成を図る。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人。								
募集人数等		定員：20人 申込：23人（うち受講決定数23人） 参加延べ人数：30人 【申込率115%・参加率65%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	9月28日(土)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	13	5	8	0
	02	10月5日(土)	10:00	～	12:00	那覇市歴史博物館	17	7	10	0
内容	01	沖縄戦が始まる前に起こった10・10空襲について学ぶ。								
	02	体験者から当時の話を聞く。								
講 師		1回目：山城 みどり（那覇市歴史博物館 学芸員） 2回目：片岡 千代（体験証言者）								
【講座の様子・感想】										
・事前に講話を受けた後、体験者の方のお話を聞くことにより、当時の状況がよく理解できた。 ・「太平洋戦争」「沖縄戦」ひとまとまりで見たり考えたりするのではなく、10・10空襲など一つ一つみていくと、米軍の戦略がいかに緻密だったかなどがよりわかるので大事な取り組みだと思った。 ・アンケート結果（満足度）86.6%										
【成果】										
・今回の講座を更に掘り進めての講座実施を求める意見がアンケートに多く見られた。 ・那覇歴史博物館と共催したことで、博物館のポスターを見てからの応募もあった。 ・公民館講座を初めて受講した方が60%いたので、公民館の各種講座を周知するための新たな手段・取組が喫緊の課題である。 ・個人的に沖縄戦の学習グループなどに属している受講生（40代）もあり、関心も高く知識も豊富で、今回の内容に需要があることを実感した。										





2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		からだところをリフレッシュ！ 市民ウォーキング講座						
事業概要		「ウォーキング」を行うことを通じて、正しい姿勢で歩くことを学び、身体の健康のみならずこころの健康に役立つことを体感してもらう。						
現状・課題		市民の8割以上が運動不足を感じているにもかかわらず、スポーツ実施率（過去1年間に週1回以上取り組んだ人の割合）が4割と全体の半数以下に留まっている。 （「那覇市スポーツ推進計画（2019年度～2028年度）」より）						
事業目的 めざす姿		講話と実践を交えた講座を開設することによって、参加者を11月10日（日）開催予定の「ひやみかちなはウォーク」参加に繋げる。						
対 象		那覇市内在住・在勤・在学で医師から運動制限を受けていない人						
募集人数等		定員：20人 申込：21人（うち受講決定数21人） 参加延べ人数：60人 【申込率105%・参加率71%】						
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	10月8日(火)	19:00 ～ 21:00	中央公民館ホール	17	4	13	0
	02	10月15日(火)	19:00 ～ 21:00	中央公民館ホール	14	3	11	0
	03	10月22日(火)	19:00 ～ 21:00	神原小学校地域連携室	15	3	12	0
	04	10月29日(火)	19:00 ～ 21:00	中央公民館ホール	14	2	12	0
内容	01	【講座】ウォーキングの知識を身に付ける						
	02	【講座・実践】基本の立ち方・歩き方、ウォーキング前後のストレッチの仕方等						
	03	【実践】ウォーキング						
	04	【実践】ウォーキング ※天候不良のため中央公民館ホールで座学						
講 師		仲吉 和美（那覇市ウォーキング協会） 【助手】真栄田 勝子						
【講座の様子・感想】 ・個人的には、適当に体を休め、少しウォーミングアップもできた後に参加出来て良かった。繰り返し復習してウォーキングを続けていきたいです。 ・ウォーキングの基礎から学ぶことが出来て日常生活に活かしていける内容で良かった。 ・アンケート結果（満足度）92.9%								
【成果】 受講者からは「ウォーキングの基本的なことが知識としてたくさん得られた」、「講座に参加して身体・心ともに気持ちよくなった」などの声が多く聞かれた。その上で「日常生活に活かしていける内容で良かった」「ウォーキングを続けていきたい」など、今後の取り組みに向けた各々の決意が寄せられ、ウォーキングを通じ身体の健康のみならずこころの健康に役立つことを体感してもらうことが出来た。								







2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル	一杯のコーヒーから始まる～この島で育った作物がこの島の人と文化を豊かにしていく～								
事業概要	コーヒーが好きで関心のある市民等を対象に、県内でコーヒーの木を栽培しコーヒースタンドも経営しているコーヒー農家を招いて、コーヒーとの出会いや栽培を始めたきっかけ、生産から販売まで手掛ける上での取組を講話してもらう。焙煎違いのコーヒーを飲み比べるワークショップを行う。								
現状・課題	朝の目覚めの1杯、食後や休憩中の1杯など、日常生活でコーヒーを飲む場面は多いが、コーヒーについてよく知らないことも多くその奥深さには心惹かれるものがある。また、コーヒーの木を栽培している生産者と出会う機会は少ない。								
事業目的 めざす姿	講話を聴き焙煎違いの飲み比べをすることで、コーヒーの知識を得て、自身の好きな味に気づくことができる。「ゴミを極力出さない」という考えや取組に触れることで、地球環境に配慮した生活について振り返り考える。県内の生産物を使った商品化の過程を知る。								
対 象	那覇市在住・在勤・在学の人。								
募集人数等	定員：20人 申込：21人（うち受講決定数21人） 参加延べ人数：19人 【申込率105%・参加率90%】								
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	1月21日(火)	19:00 ～ 21:00	中央公民館ホール	19	6	13	0	
内容	01	①自己紹介（15分） ②モチベーションアップの話（15分） ③コーヒーの話（15分） ④焙煎違い飲み比べのワークショップ							
講 師	松田 達雄（ディライトファームCOFFEESTAND代表） 【助手】松田 弥生								
【講座の様子・感想】									
・ コーヒー系の講座やワークショップだと正解・不正解を言われたり、知識の押し付けみたいなのも多いので、今回の講座は自由な考えや教えでよかった。 ・ テースティングでのコーヒーは今までに味わったことのない美味しさでした。 ・ アンケート結果（満足度）94.7%									
【成果】									
・ コーヒーの木を栽培している受講生から、土壌や植える場所、生育環境などについて専門的な質問が活発的に出て、講師も丁寧に答えていた。 ・ 20代から80代までの受講生がいて、20代の受講生は、講師がアメリカに渡米したきっかけやそこで出会った人との出会いから今までの人生の進路選択について興味を持った様子で、いろいろ質問をしていた。 ・ コーヒーの試飲での説明が良く、煎り方の説明はわかりやすかった。受講生は、自分の好きな味を覚え、お隣同士で味比べに花が咲いていた。 ・ アンケートには、お話が面白かった！楽しかった！と多く見られた。受講生は講師の人柄やユニークさに惹かれており、連続でのコーヒーの講座を希望する人が多かった。									
									

2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		腸活・薬膳・発酵パワー（全4回）						
事業概要		6月「梅雨時期のむくみ対策」9月「夏の疲れ、不調を改善」12月「冬の温活」2月「春の養生」と季節のテーマを決め実施する。漢方や薬膳について学び、家庭でも用意できる季節の食材を使った調理実習を行う。						
現状・課題		公民館へあまり足を運ばない「30代～50代」に興味を持ってもらえる講座が必要である。 「病気ではないけれど、何となく調子が良くない」と、原因が分からず一人で悩んでいる人、漢方の考え方の「未病」を「食」を通して体調を整えたいと考えている人が多い。						
事業目的 めざす姿		漢方や薬膳、腸活を学ぶことで趣や季節の野菜の持つ効力を理解し、普段の食生活に取り入れて健康な身体づくりを目指す。						
対 象		那覇市在住・在勤・在学の18歳以上の人						
募集人数等		定員：各回16人 受講決定数：各回20人 参加延べ人数：75人（全4回） 【申込率平均：206%・参加率平均：94%】						
日時 場所	回	期日	開始～終了	実施(集合)場所	申込数 (申込率)	参加人数 (参加率)	男性	女性
	01	6月8日(土)	10:00～13:00	保健所調理実習室	25 (156%)	19 (95%)	0	19
	02	9月21日(土)	10:00～13:00	保健所調理実習室	31 (194%)	20 (100%)	1	19
	03	12月7日(土)	10:00～13:00	保健所調理実習室	42 (263%)	18 (90%)	1	17
	04	2月9日(日)	10:00～13:00	保健所調理実習室	34 (213%)	18 (90%)	0	18
内容		身体を整えるための薬膳や漢方の考え方を学び、季節の食材を使った調理実習を行う。						
講 師		永野 貴子（美と健康研究所代表） 【助手】早川 雅之						
【講座の様子・感想】								
・血・水・気のお話等、とても勉強になりました。 ・初めてお会いする方と一緒に料理をつくり、一緒に食べることで一体感ができて良かったです。 ・アンケート結果（満足度） 平均98% 1回目94.7% 2回目100% 3回目100% 4回目100%								
【成果】								
・講座企画の趣旨とした「30代～50代」が7割を超える回もあり参加者層の目標は達成された。またオンライン申請が可能となり公民館の窓口が閉まっている時間帯でも申し込みができるようになったことが、忙しい世代に受け入れられた要因の一つと考えられる。 ・腸活や薬膳は難しくないこと、普段の生活に取り入れやすいことを念頭に季節に合ったメニューを講師と調整した。むくみ対策に「グリーンカレー」、夏の疲れや不調にはスパイスを聞かせた「パエリア」、冬の温活では体を温めるショウガやゆずを使った「ゆず茶の照焼チキン」、春の養生では体温の調整を助ける「手羽元を使った参鶏湯」を作った。 ・食材はスーパーなどで手に入るショウガやニンニク、スパイスを使用した。使うスパイスによって薬膳になることを学び、自宅でも継続できると高評価であった。								







3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

講座名 タイトル		スマホ講座アンドロイド編 あなたの「困った」を解決！							
事業概要		60歳以上の方を対象に、スマートフォンの基本操作の説明と、便利な機能を使いこなせるようになるための講座を実施する。							
現状・課題		高齢者も多くがスマートフォンを持つ時代であるが、使用するのは通話機能のみで、通話以外の便利な機能を使えていない人が多いのが現状である。社会生活の充実を図るには、スマートフォンの様々な機能を使えるようになることも必要である。							
事業目的 めざす姿		スマートフォンを活用することは、日常生活にも大いに役立つことと学び、スマートフォンを使いこなせるようになることを目指す。							
対 象		那覇市在住・在勤・在学の60歳以上の人							
募集人数等		定員：15人 申込：18人（うち受講決定数16人） 参加延べ人数：42人 【申込率120%・参加率88%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	6月11日(火)	10:00 ～ 12:00	中央公民館ホール	16	4	12	0	
	02	6月25日(火)	10:00 ～ 12:00	中央公民館ホール	14	4	10	0	
	03	7月2日(火)	10:00 ～ 12:00	中央公民館ホール	12	4	8	0	
内 容	01	「困ったを解決」呼び出し音の消し方やLINEの使い方など基本操作を学ぶ。							
	02	「使ってみる」画面やタッチパネルの使い方など便利な機能について学び、実際に操作してみる。							
	03	「ネットにアクセスしてみよう」アプリの取り方や削除の方法、検索やビデオ通話などを体験。那覇市の公式アカウントにアクセスし、電子図書を実際に借りてみる。							
講 師		房前 三男（那覇市シルバー人材センター） 【助手】3名（那覇市シルバー人材センター）							
【講座の様子・感想】									
・今回のスマホ講座のパート2・3などとレベルUPの講座を希望 ・スマホの便利な機能がイメージでき、習得できました。課題がたくさん見えてきました。 ・アンケート結果（満足度）88.9%									
【成果】									
・定員を上回る申込があつて、講師と調整し希望者全員を受け入れての講座となったことから、高齢者が求める講座を実施できたと考える。 ・2回目からは、講座の始めに前回の復習後授業に入るよう講師に依頼したことから、理解度の向上が図られた。 ・図書館の協力で、2週間だけ電子図書を借りられる仮の図書カードを作ってもらい、受講生にチャレンジしてもらった。実際は本登録の図書カードがないと借りれないことを説明すると、早速本登録の図書カードを作っていた。スマートフォンの有効な活用、さらに図書館の利用等、実生活に有効な講座が実施できたと考える。									





3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

講座名 タイトル		ギターでうたごえ								
事業概要		60歳以上の方を対象に、講師の奏でるギターの音色に合わせ歌を歌うことを通して、呼吸法やボイストレーニングの基本を取り入れた講座を実施する。また高齢者の集う居場所作りも模索する。								
現状・課題		コロナ禍で他者との会話やコミュニケーションが希薄になったことにより、「声のかすれ」「張りがない」「痰の絡みが気になる」「以前より声が出にくくなった」など、口まわりの筋肉が衰え誤嚥性肺炎のリスクが高くなっている。								
事業目的 めざす姿		歌を歌うことで口のまわりの筋肉を使い、加齢とともに衰える嚥下機能（食べ物や飲み物を飲み込む力）や通称「ごっくん筋」を鍛える。また、歌を楽しむことで共通の趣味を持った仲間を作る。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の60歳以上の人								
募集人数等		定員：20人 申込：23人（うち受講決定数23人） 参加延べ人数：66人 【申込率115%・参加率96%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	11月19日(火)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	25	8	17	0
	02	11月26日(火)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	22	6	16	0
	03	12月3日(火)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	19	6	13	0
内 容	01	座学：準備運動後、呼吸法を学ぶ。 実践：講師の弾くギターに合わせ歌う。								
	02	実践：準備運動後、講師の弾くギターに合わせ、懐かしの昭和歌謡やフォークソングなどを歌う。								
	03	実践：準備運動後、講師の弾くギターに合わせて唱歌や那覇市歌などを歌う。								
講 師		糸数 剛 【助手】糸数 秀子								
【講座の様子・感想】										
・ 声を出すことが大変難しくおどろきです。ギターの演奏が素晴らしい。 ・ ギターの音に合わせて歌うのは初めてで、大変満足しています。 ・ アンケート結果 満足度94.7%										
【成果】										
・ 最初は緊張もあり、顔がこわばり声を出しづらそうにしていた受講生も、回を重ねると笑顔でリズムを取るなど楽しそうに歌を歌っている。ボイストレーニングの成果も出始め、回を重ねるごとに発声が良く表情も豊かになってきた。 ・ 「ギターを聞きながらたくさんのメンバーでコーラスするのはとても楽しい。大きい声で歌う機会があまりないので、発声した後はとても気分が良い」など、受講生がどんどん笑顔になっていき楽しそうにしている姿は企画して良かったと思える。90歳の受講生も、中央公民館の急な階段を足取り軽く上がってくる。講座終了後はお試し期間を経て、サークルとして活動を続けており、高齢者の居場所づくりも達成できた。										









4 青少年対象事業

〔1〕少年教室

講座名 タイトル		グラタン作ってみました♪								
事業概要		異年齢の集団で、調理という共同作業を通じて互いに協力しあうことで、コミュニケーション能力を養う。自分で料理をすることで、食べ物大切さを知り、毎日食事を作っている家族に感謝の気持ちを持つ。気持ちよく配膳して、みんなで楽しく食べる。								
現状・課題		夏休み期間、保護者がお仕事だと、自宅でお留守番をしている小学生の昼食は、レトルト食品やインスタント食品、お弁当やお惣菜購入になる現状がある。家庭でよく使われる食材で簡単に作れて、栄養も偏りなく摂れる食事づくりができるようになること、またその知識を持つことが課題である。								
事業目的 めざす姿		自分で作る、食べる、片づけるなどの一連の作業を通して料理へのハードルを下げ、家庭での実践につながる。刃物等の扱いを慎重に行い、調理機器を安全に使用し、食中毒にならないように、危険を予防することができる。作る楽しさ食べる楽しさを家族と一緒に味わうことができる。								
対 象		那覇市内小学4・5・6年生								
募集人数等		定員：20人 申込：20人（うち受講決定数20人） 参加延べ人数：19人 【申込率100%・参加率95%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男児	女児	オンライン
	01	7月28日(日)	14:00	～	16:00	保健所調理実習室	19	4	15	0
内容	01	小学4～6年生のみなさんに「一人で出来る食事づくり」を学んでもらう。「グラタン」と「野菜スープ」を作る。								
講 師		永野 貴子（漢方医・薬膳師・麴師） 【助手】早川 雅之								
【講座の様子・感想】 ・あまり自分でグラタンやスープを作ろうとは思わなかったけど、体験してみて、お昼の時間やひまな時に作ってみたいです。 ・初めて初対面の人と協力して料理ができたことが楽しかったです。 ・アンケート結果（満足度）88.2%										
【成果】 ・近隣小学校にチラシを配布した結果、応募について子ども本人が希望し申し込んだ数と、保護者が申し込んだ数が同数であった。 ・受講生の子どもたちは、普段自宅では作らない料理であるが、簡単にできたので自宅でも作りたい、家族に作って食べさせたいと答えていた。 ・調理実習を通して、初対面の人と仲良くなれたのが、楽しかったと多く聞かれた。 ・体験型学習は、コミュニケーション能力も高める効果があるため継続的に実施したい。										





4 青少年対象事業

〔2〕親子ふれあい教室

講座名 タイトル		おや子でレッツ♪eスポーツ								
事業概要		全国都道府県対抗eスポーツ選手権や全国高校eスポーツ選手権などが開催され、注目されているeスポーツを親子で体験・対戦することで、子どもが興味を持つモバイルゲームについて親が知るきっかけ作りにする。また、インターネットの適切な利用やネットトラブルに巻き込まれないためにネットリテラシーを学ぶ。								
現状・課題		現状として、eスポーツが全国的に注目され、さまざまな大会が開催されている。しかし、多くの親が子どものゲームに対する理解やインターネットを安全に利用するための知識が不足しており、また思春期の子どもとのコミュニケーションが難しくなる時期でもある。課題として、小学校5・6年生の親子で参加するための、今回の講座の趣旨の伝え方や、教育的価値のあるゲームの選定、短時間で効果的にネットリテラシーを伝える方法が求められる。また、ゲームに対するネガティブな印象を持つ親への丁寧な説明とフォロー、一過性のイベントに終わらず継続的に親子で楽しめる方法を見つけることが挙げられる。								
事業目的 めざす姿		親子で戦術を考えお互いにアシストしながら戦うことで、ゲームを通じて共有体験が増え、思春期の子どもとのコミュニケーションが深まり、良い親子関係の構築や休みの思い出作りのきっかけになる。また、インターネットの適切な使い方や情報の見極め方を学ぶことで、子どもが自立して安全にインターネットを利用できる力を身につける。 親自身もネットリテラシーを学び、子どもがインターネットを利用する際のサポートを行えるようになる。								
対 象		那覇市内小学5・6年生とその保護者								
募集人数等		定員：22組 申込：6組（うち受講決定数6組） 参加延べ人数：5組（12人） 【申込率27%・参加率83%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	児童
	01	8月4日(日)	13:00	～	16:00	中央公民館ホール	12	4	2	6
内 容	01	①開会式 ②講師からのお話（自己紹介・eスポーツについて） ③操作の説明と講師による操作見本の披露 ④親子で「スイカゲーム」・「大乱闘スマッシュブラザーズ」・「ピクミン4」開始。 ⑤閉会式・表彰式								
講 師	新里 渉（J-Snake）（美ら組代表） 【助手】新里 悠仁・喜屋武 希一・新城 源紀									
【講座の様子・感想】 こども：もう一度やってほしい。いろんな人と対戦できて楽しかった。 大人：和気あいあいと楽しめた。参加できて良かった。 親子や友だちでゲームする機会があつて良い。ゲームのふれあい は新鮮で良い。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】 ・思春期に入る小学校5・6年生とその保護者を対象にしたが、申し込みが1桁から増えなかった。小学校低学年保護者からの問い合わせや希望が多かった。今回は、企画の練り直しが必要と感じた。 ・スイカゲームで、年上の小学生相手に勝ち続けていた子と保護者のやり取りから、親子のコミュニケーションが深まった瞬間を見ることができた。										







4 青少年対象事業

〔2〕親子ふれあい教室

講座名 タイトル		「ファミリーで自然あそびin与儀公園」～リュウキュウコノハズクに会えるかも!!～								
事業概要		親子に与儀公園の自然の豊かさや、その価値を理解してもらうために、楽しみながら学べるネイチャーゲームを実施する。種々の自然体験プログラムを通じて、親子に地球環境に配慮した日常生活を送る意識を深めるための体験をしてもらう。								
現状・課題		近年、身近な自然の減少に伴う「機会の減少」と自然体験に対する「意欲の減少」がみられる。保護者は子どもに、様々な体験活動を経験させたい願いと、親自身が経験不足のため直接自然体験ができる場所で、一緒に参加して学びたいという願いがある。								
事業目的 めざす姿		SDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」の理念を学び、理解する。地球環境に配慮した日常生活を送ることが大切であるという意識の向上を図る。自然と直接触れ合うことを通して、親子で与儀公園を活用し、自然を親しむ場所になることを目指す。								
対 象		那覇市在住・在勤の小学生とその保護者。								
募集人数等		定員：10組 申込：11組（うち受講決定数10組） 参加延べ人数：9組（16人） 【申込率110%・参加率90%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	児童
	01	10月20日(日)	10:00	～	12:00	中央公民館・与儀公園	26	4	9	13
内容	01	①カモフラージュ ②フィールドビンゴ ③山之口獺の詩碑見学								
講 師		天願 こずえ（沖縄あたびいシェアリングネイチャーの会 代表）								
【講座の様子・感想】 子ども：すべてがたのしかった。カモフラージュ、フィールドビンゴゲームが楽しかった。友だちといっしょにさがしたこと。 大人：発見が多かったです。子どもと一緒に楽しめる講座で楽しかったです。普段見ていないところに目を向けることができ新鮮でした。ちょうど良い時間でした。また参加したいです。時間をかけて、市内の公園で自然観察できて良かった。 初めての参加でしたが、とても楽しかったです。身近な公園でしたが視点を変えることで、様々な発見があり楽しかったです。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】 ・普段利用しない与儀公園で、まわりに同化する色（保護色）や、色や形を周囲の他のものに似せた（擬態した）ものを何個探せるかという「カモフラージュ」を体験することで、見ている視点が広がり新たな発見ができた。 ・「フィールドビンゴ」は、生き物や植物に関する探しものがビンゴカードになっていて、保護者や友だち同士で教えあって協力しながら達成できたことは、素晴らしかった。 ・保護者も子どもも夢中になって、与儀公園の自然を楽しんでいる様子をみるのができた。 ・多くの受講者が、また与儀公園に訪れたいと口々に話していたので、このような講座の開催は必要性があるものと感じた。										



5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

講座名 タイトル		「宇宙の学校®」 IN中央公民館						
事業概要		NPO法人子ども・宇宙・未来の会から講師を招きJAXA宇宙教育センターの教材を使い、親子で子どもの遊びを科学的に学ぶ講座を実施する。						
現状・課題		科学館がない沖縄では、科学の視点から考え体験する機会が少ない。子どもたちが普段の生活の中で「フシギ？なんだろう？」と感じる自然現象などに親子で取り組み「心に科学の種」を植え、親子でその種を育てる体験が必要と考える。						
事業目的 めざす姿		親子で取り組む実験や工作を通して、子どもには親と学ぶ楽しさを実感し、親は家庭では見られない子どもの学ぶ姿や取り組む様子を見ることで、より良い親子関係の構築を目指す。						
対 象		那覇市内在住・在学の小学校1年生～3年生とその保護者						
募集人数等		定員：15組 申込：94組（うち受講決定数25組） 参加延べ人数：41組（80人） 【申込率627%・参加率82%】						
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	児童
	01	5月26日(日)	10:00 ～ 12:00	中央公民館ホール	49	12	12	25
	02	7月7日(日)	10:00 ～ 12:00	中央公民館ホール	31	8	7	16
内容	01	開校式・かさぶくろロケットをつくってとばそう						
	02	ねつききゅうをあげよう・家庭学習発表会・閉校式						
講 師		1回目：稲葉 茂（NPO法人子ども・宇宙・未来の会副会長） 【助手】五十嵐 晴美 2回目：田端 研二（亜熱帯天文台台長）						
【講座の様子・感想】								
・宇宙への興味につながる楽しい時間でした。ロケットづくりから宇宙の話（最近のニュース・現象）まで広く知ることができて良かったです。 ・子どもも大人も楽しく学ぶことができ、期待していた以上に子どもが楽しんでいました。 ・アンケート結果（満足度）保護者100% 子ども81.6%								
【成果】								
・1回目の「かさ袋ロケット」では、親子でロケットの工作を、2回目の「ねつききゅう」では、グループの仲間と気球を作り、カウントダウンで空中へ飛ばす体験をした。子どもたちが不思議に思うことを親子やグループの仲間と考え共有しそれを実践することは深い学びになり、広い視野を育む。親子での学びの向上と、より良い親子関係の構築につながったと考える。 ・家庭学習発表では、研究成果について素晴らしい発表があり、家庭においても親子で学習を行ったという成果がみられた。 ・今回のアンケート結果から、子育て世代は紙媒体よりもSNSで情報を受け取り、講座申込等もオンラインを利用していることがわかった。次年度の講座・事業実施に生かしていく。								





5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

講座名 タイトル		読み聞かせボランティア養成講座 ～入門編～（全5回）								
事業概要		沖縄県子どもの本研究会と連携し、本の持ち方や読み聞かせに使う小道具作りなどの基礎を学び、近隣こども園や保育園での実践を取り入れた講座を実施する。								
現状・課題		幼児教育の重要性が広く認識され、絵本の読み聞かせの活動は、その一環として需要が高まっている現状がある。読み聞かせを行っている人などからも基礎を学びたいとの声があるが、学ぶ機会が少ない現状がある。								
事業目的 めざす姿		読み聞かせの基礎や実践方法を学び、読み聞かせを通して、子どもたちが絵本の楽しさを体験し、絵本に興味・関心を持てるような読書環境づくりの促進ができる人材を養成する。また、受講者自身が本を読むことの楽しさを学び、ボランティア活動をする上での仲間作りをすることを目的とする。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学で、読み聞かせに興味があり、那覇市内で読み聞かせボランティアの活動をしている人、またはこれから始めたいと思っている人 （読み聞かせ講座を初めて受講される人を優先する）								
募集人数等		定員：30人 申込：24人（うち受講決定数24人） 参加延べ人数：69人 【申込率80%・参加率58%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	7月3日(水)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	17	0	17	0
	02	7月10日(水)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	17	0	17	0
	03	7月17日(水)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	15	0	15	0
	04	7月24日(水)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	8	0	8	0
	05	7月31日(水)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	12	0	12	0
内 容	01	読み聞かせの必要性と方法								
	02	絵本の種類と選び方								
	03	小道具を使って読み聞かせを楽しもう								
	04	読み聞かせにチャレンジ～本の基本的な持ち方、めくり方、読み方～								
	05	園児を招いて読み聞かせにチャレンジ								
講 師		田名 洋子・平良 京子・山内 淳子（沖縄県子どもの本研究会）								
【講座の様子・感想】										
・こども園や小学校の読み聞かせの経験はあったが、実際の現場体験をすればするほど色々な課題だったり反省点、これは使える！という技？本選びもできる気がした。小道具はさらにレベルが高いけど使えるようになったら楽しそう。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】										
・今年度の受講生には実際に読み聞かせを行っている人もいて、質問も実践を踏まえたものがあり、読み聞かせについての疑問、悩みの解消にも今回の講座が手助けになったかと考える。 ・今回の受講生の間でLINEグループが作られ、講師の講演会などに出かけるなど学びを共有していることから、共に学ぶ場を作ることができたものと考え。 ・受講者から講座の開催時期（夏休み期間）によっては、出席が難しい状況もでてくるという意見があった。講座内容のみならず、開催時期、時間について検討、対応していく。										





5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

講座名 タイトル		「ワタシ磨きのヒントをつかむ」～心の砂漠に絵本を一滴～								
事業概要		絵本作家である講師が「絵本は心の処方箋」というテーマで、ワークショップを行う。絵本はユーモア、悲しみ、思いやりなど、生きる上で大切なものに深く気付かせてくれるツールであることを改めて確認し、心の潤い回復を図る。								
現状・課題		絵本は子どものものというイメージがある。子どもは絵本を読むと、現実の生活ではなかなか経験できないような楽しいこと、嬉しいこと、悲しいことを自分のことのように疑似体験し、主人公になった気持ちで絵本を読んでいる。一方、大人が絵本を読むと、自分の過去の出来事や、現状と照らし合わせて絵本のメッセージを受け取る。経験を積んだ大人だからこそ、じんわりと沁み入る癒しや気付きを得られやすいのである。								
事業目的 めざす姿		家庭を支援する関係者に対して、専門知識を深め、技能等を高めるスキルアップの研修を通してその充実を図り、併せて、市町村の家庭教育支援チームの結成や子育て支援に関わる人材の育成につなげる。								
対 象		社会教育・家庭教育の支援者、一般の方。児童支援員の方、心の相談員、民生委員・児童委員の方、家庭教育に興味がある方、保護者。								
募集人数等		定員：30人 申込：30人（うち受講決定数30人） 参加延べ人数：29人 【申込率100%・参加率97%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	1月25日(土)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	29	1	28	0
内容	01	①自己紹介 ②「絵本は心の処方箋」のテーマで絵本セラピー ③質疑応答								
講 師	ながもと みち（絵本セラピスト・絵本作家）									
【講座の様子・感想】										
・1冊の絵本から伝わるメッセージ性。多くの気づきがありました。素敵な絵本との出会い。講師の先生や他の受講生の方とのお話もシェアできたことも学びとなって良かったです。 ・絵本を通して、ワタシ磨きのヒント、心もち、自身の生き方、子育てについて考えるヒントをいただきました。グループでのシェアの時間があり、あたたかい雰囲気の中で受講できてよかったです。心がほぐれました。ありがとうございます。 ・アンケート結果（満足度）96.6%										
【成果】										
・講師による詩の朗読で、講座がスタートした。母がわが子への愛を語る内容だったので共感しやすく、受講生の心が一気に近くなる場づくりであった。 ・講師が準備した絵本（5冊）を1冊ずつ読み、グループで感想のシェア等行い、2冊目以降は、打ち解けた感じで笑顔あふれる温かい雰囲気が流れていた。 ・『最後の質問』という絵本から、悩んでいる時は自然や身近にあるものに目を向けることで自分をリセットしたり、癒したりすることが大切。“幸せとは何か”という質問が重要でそれにつきると感じたとのアンケートを読んで、まさしくその通りで、趣旨がきちんと伝えることができていると感じた。										





5 家庭教育事業

〔2〕乳幼児学級

講座名 タイトル		子育て中のほっとひといき～与儀公園の自然に触れてみませんか～								
事業概要		与儀公園内で、五感を使った自然あそび「ネイチャーゲーム」の自然体験プログラムを実施する。身近な自然に触れて、子育て中で疲れたココロとカラダを癒す。自然の中で自分自身と向き合うことで、日々の育児や日常生活を前向きに過ごすことができる。								
現状・課題		現状として、子育て中の親は育児のストレスや疲労を感じる人が多い。親同士での外出や対面での交流は、コロナ禍以前の状況までには回復しておらず、その結果、コミュニケーションの機会や自然の中での活動も減り、親子ともにリフレッシュする機会が少なくなっている。課題としては、子育て中の親が抱えるストレスをどのように軽減するかが挙げられる。親同士が気軽に交流できる場を提供し、コミュニティの強化を図る。また、親が与儀公園の自然と触れ合う機会を創出し、リフレッシュできる時間を確保する。								
事業目的 めざす姿		子育て中の親子が自然を通じてリフレッシュし、日々の育児や生活に前向きに取り組むためのサポートを行う。参加者同士の交流が深まり、育児において支え合えるコミュニティが形成される。親が自然との繋がりを感じ、自然体験が日常生活においても大切であると実感する。安全対策をしっかりと行いながら、継続的にできるプログラムとして定着する。								
対 象		那覇市在住・在勤で受講時2か月～12ヶ月のお子さんがある家庭。								
募集人数等		定員：10人 申込：12人（うち受講決定数10人） 参加延べ人数：7人 【申込率120%・参加率70%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	6月26日(水)	10:00	～	12:00	中央公民館・与儀公園	7	1	6	0
内容	01	①公園内にある山之口獏氏の詩碑を訪れる ②サウンドマップ体験 ③フィールドビンゴ ④木へのインタビュー								
講 師		天願 こずえ（沖縄あたびいシェアリングネイチャーの会 代表）								
【講座の様子・感想】										
・乳幼児学級なのに、なぜ親だけで公園散歩？と思いましたが、リフレッシュもできたが、自然や身近な普段は気にも（足も）とめない公園でこんなことができるという事がいっぱいだった。 ・行く機会のなかった与儀公園で新たな発見ができて良かった。自然の音に癒された。子どもを預けて。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】										
・チラシではネイチャーゲームがどういうものか、また講座の趣旨が伝えきれていなかった。申込者に公園で自然遊びをする内容なのに、なぜ子どもと一緒にじゃないのか？と聞かれ、チラシの重要性を認識させられた。 ・受講者が初めて見る動植物（楠木の匂い、アオバズク）に驚きと、街中にある与儀公園の自然の豊かさに感動していたことから、心のリフレッシュが図られたものとする。 ・受講生から次から子どもと一緒にいきます、また自然あそびについてどうしたらいいか分からなかったが今回自分が体験できたので、子どもと一緒にやりますなどといった意見が聞かれ、講座の趣旨以外にも良い効果があったものとする。										





5 家庭教育事業

〔2〕乳幼児学級

講座名 タイトル		応急手当講習								
事業概要		乳幼児のケガや急な体調変化時に冷静に対応できるよう、知識と技術を保護者が身につける。								
現状・課題		乳幼児の事故は家庭内で発生することが多く、それに対する保護者や周囲の正しい対応が必要となってくるが、多くの保護者が具体的な応急手当についての知識と技術が不足している現状がある。								
事業目的 めざす姿		保護者に対する「応急手当の知識と技術の普及・啓発」。いざというときに、冷静に対応することができ、「不慮の事故」を未然に防ぐための状況判断ができるようにする。								
対 象		那覇市内在住・在勤・在学で1歳児までの乳幼児がいる家庭。								
募集人数等		定員：15組 申込：24組（うち受講決定数16組） 参加延べ人数：15組（38人） 【申込率160%・参加率94%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	児童
	01	6月30日(日)	10:00	～	12:00	中央消防署神原分署	38	10	15	13
内容	01	応急手当講習（乳幼児や小児の心肺蘇生法やAEDの使用方法、異物除去、熱中症など）を実践で学ぶ。								
講 師	那覇市消防局中央消防署神原分署 第3警備 消防士（3名）									
【講座の様子・感想】										
・AEDを操作できた。一人ひとり教えてもらえたのでとても良かった。託児付きで集中できました。 ・具体的な事例等を話してくれて、とてもわかりやすかった。 ・日頃疑問に思っていることも気軽に聞けた。										
・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】										
・申込者数が定員数を上回り、受講生からは定期的に応急手当講習を開催して欲しい、消防士から直の講習と救急隊員の実例はためになったとの声が聞かれたことから、応急手当講座を開催することの重要性を実感し、ニーズのある講座が開催できたと考える。 ・夫婦での参加者が多く、AEDの操作の仕方や乳児の心肺蘇生の手順を忘れないよう、真剣な眼差しで実技を行っていたことから、実践的な学習ができたものと思われる。										









5 家庭教育事業

〔2〕乳幼児学級

講座名 タイトル		babyと一緒に産後ボディメイクヨガ								
事業概要		毎日の子育てで頑張っているママのカラダとココロに、ヨガを通じてリラクゼーション効果を得る体験をする。前半のベビーヨガで親子のスキンシップを深め、後半は子どもを託児サポートに預けて、ママヨガで心身のリフレッシュを図る。「産後ボディメイクヨガ」では産後のママのカラダとココロのケア、赤ちゃんとのふれあいの時間、そしてママ同士の交流の場として、ママが子育てを楽しむための時間を提供する。								
現状・課題		子育て中のイライラや子どもの成長等、日常生活で起きる出来事などを誰かと共有したいと感じているママは、子育て支援センターにその場を求めている現状がある。子育てしやすい那覇市になるために、子育て中のママが興味関心を持って講座等に参加できるよう、託児付きで無料で学べて、体験できる場所を提供していくことが課題である。								
事業目的 めざす姿		講師が自身の子どもをモデルにベビーヨガを行うことで、参加者のママ同士がお互いの子どもを介して、初対面の場が和やかになる。講師自身の育児の体験が受講生の心をつかみ、ココロもカラダもリラクゼーションして、ママ同士の交流が始まる。受講生のママと赤ちゃんのコミュニケーションも深まり、子育てに前向きな気持ちになる。								
対 象		那覇市在住・在勤で受講時2か月～1歳6ヶ月未満の乳幼児がいる家庭。								
募集人数等		定員：10組 申込：25組（うち受講決定数10組） 参加延べ人数：9組（18人） 【申込率250%・参加率90%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	児童
	01	9月25日(水)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	18	0	9	9
内容	01	前半は赤ちゃんと一緒にのヨガ、後半はママだけのヨガ。								
講 師		新里 美月（Yoga Coral 代表 ヨガインストラクター）								
【講座の様子・感想】										
・初めてのヨガを経験して、とてもリラックスすることができました。子どもも預かってもらいありがとうございます。 ・久しぶりに体を動かしてリラックスできて良かったです。また同じ講座をして頂きたいです。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】										
・受講生の半分以上が初めての公民館講座参加で、今回の講座を通して公民館のことを知ってもらうことができた。 ・初めましての受講生同士が子どもを介し、子育てあるある話で講師も交えながら、交流を図ってもらうことができた（子どもの月齢が近くて親近感を感じている）。 ・初めての乳幼児学級受講、初めての集団託児を経験するママが多かったため、受講決定の電話連絡の際に託児について不安を感じさせないように、お子さんの様子を聞いたりお話をしたりして、ラポール形成に務めた。今後の同様の講座開催時にも同様に対応していく。 ・受講生のママ達が、リラックスして楽しんで参加できている様子がみられ、講座実施の目的が達成されたと考える。										





5 家庭教育事業

〔2〕乳幼児学級

講座名 タイトル		リトミック&クリスマスコンサート								
事業概要		音脳Englishリトミック体験と、乳幼児向けのピアノとフルートによるクリスマスコンサートの開催。一足早いクリスマス気分を味わうとともに、音楽の楽しさを親子で体験する。専門の講師を招き、子供たちに質の高い音楽体験を提供する。								
現状・課題		現状では乳幼児について、音楽の楽しさに触れる機会が足りないとされていて、またピアノやフルートといった楽器の演奏を生で聴く機会も少ない。実際に、大人でも楽器に触れる体験の機会がないのも課題の一つである。								
事業目的 めざす姿		音楽に楽しく触れる機会を通じて、乳幼児の感性を育むことと「音楽がきちんと体験できて、安全で楽しい場」を提供する。また、音楽を通じて子どもたちが笑顔になり、家族にとっても楽しみな場となるようなコミュニティの形成を目指す。								
対 象		那覇市内在住・在勤で小学校入学前の子を持つ保護者とその乳幼児。 音脳Englishリトミックは首すわりから1歳までの乳幼児。								
募集人数等		定員：30組 申込：53組（うち受講決定数53組） 参加延べ人数：39組（85人） 【申込率177%・参加率74%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	児童
	01	12月11日(水)	10:00	～	12:00	中央公民館ホール	85	6	40	39
内容	01	第1部 音脳Englishリトミック体験は15組 第2部 コンサートは申込者のみ30組								
講 師	松本 恵美（ピアノ講師・リトミック講師） 金城 まみ子（フルート&ピッコロ奏者）									
【講座の様子・感想】										
・子どもに生演奏を聴かせる機会は少ないので、貴重な体験をさせて頂きました。 ・第二部は全員参加できたのも良かったです。 ・曲、曲数、雰囲気到大満足です。親子ともにととても楽しめました。 ・とてもリラックス&クリスマス気分が上がりました。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】										
・リトミック初体験の親子が大半であったが、講師がテンポよく話す英語の挨拶や歌と一緒に口ずさみながら、ロープやボール、スカーフを使った遊びを行ったり、子どもを抱っこしながら、ピアノの音の変化を捉えた動きを身体全体を使って表現していた。終了後、受講生同士で「ハードだったね、疲れたね」と笑いながら会話をしていたことから、家族にとって、また他者とも楽しい場所とするコミュニティ形成の場ができたと考える。 ・クリスマスコンサートには総数85人の参加があつて、コンサートの需要が大きいことを確認できた。 ・プレイマットでゆったりできるスペースを作り、選曲や演奏時間は講師と事前に調整をし、親子で楽しめる雰囲気づくりに腐心してコンサートを開催したことから、アンケート結果を100%にすることができたと考える。										









6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		ガープ川にこいのぼりを泳がそう							
事業概要		地域連携事業として、近隣こども園・保育園の園児・児童が制作したこいのぼりを、与儀公園に流れるガープ川に掲げ、与儀公園に親しんでもらう。							
現状・課題		大きな木が生茂る自然豊かな与儀公園だが、一部で「暗い・木が大きくて見通しが悪く怖い」などの意見もある。							
事業目的 めざす姿		与儀公園の活性化を図り、近隣住民の憩いの場を目指す。							
対 象		さくら保育園・わかば認定こども園・みやぎ原こども園・神原こども園・子育て支援センター「ていーら」							
募集人数等		定員：無し 参加延べ人数：83人							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男児	女児	オンライン	
	01	4月25日(木)	10:00 ～ 11:00	与儀公園のガープ川	41	20	21	0	
	02	4月26日(金)	10:00 ～ 11:00	与儀公園のガープ川	42	20	22	0	
内容	01	4月25日掲揚式 こいのぼり斉唱後掲揚 わかば認定こども園・みやぎ原こども園							
	02	4月26日掲揚式 こいのぼり斉唱後掲揚 神原こども園・さくら保育園							
講 師		與座 正夫							
【講座の様子・感想】									
・各園の園長先生から、「毎年保護者の方が楽しみにしているので、今年もこいのぼりを掲げられるのは嬉しい」「子どもたちも楽しみにしています」という嬉しい言葉をいただいた。									
【成果】									
・近隣のこども園や保育園に協力をいただき、こいのぼりをガープ川に泳がせて4年目に入り季節の風物詩として定着している。									
・朝夕お散歩やウォーキングの人、登園・降園の際などに園児たちが保護者などと、多くの市民がこいのぼりの写真を取る姿が印象的でカラフルなこいのぼりが与儀公園を明るくしている。									
・中央公民館の職員としてこども園や保育園の先生方とも顔の見える関係になってきた。良い意味でお互い「お願いがしやすい」関係になってきた。									
・子どもの成長を願う「手作りのこいのぼり」を眺めながら、与儀公園がもっと地域住民の憩いの場になることを願う。									





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		子どもの居場所「小学生も中学生も遊びにおいでよIN夏休み」 (自由に遊ぼう・自習室開放・お習字教室・かいがきょうしつ・ニュースポーツ体験・英語の読み聞かせ)							
事業概要		夏休み期間、子ども同士や地域の人との関わりができる場を作り、安心して遊ぶことのできるこどもの「居場所」として、公民館のホールや会議室を開放する。 会議室を自習室とし、ホールでは習字や絵画教室、ニュースポーツ体験などを実施する。							
現状・課題		夏休み期間中、児童生徒の自習ができる公共の場所が少ない。共働き世帯では夏休みの宿題、特に絵や習字など目が届かない現状がある。							
事業目的 めざす姿		児童生徒が安心して遊び学べる場の提供と夏休みの思いで作りを目指す。							
対 象		那覇市内の小学校・中学校の児童生徒							
募集人数等		定員：無し 参加延べ人数：145人							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男児	女児	無回答	
	01	7月23日(火)	13:00 ～ 16:00	中央公民館ホール	15	7	8	0	
	02	7月30日(火)	13:00 ～ 16:00	中央公民館ホール	26	7	16	3	
	03	8月3日(土)	13:00 ～ 16:00	中央公民館ホール	16	2	14	0	
	04	8月6日(火)	13:00 ～ 16:00	中央公民館ホール	47	22	25	0	
	05	8月13日(火)	13:00 ～ 16:00	中央公民館ホール	10	3	7	0	
	06	8月20日(火)	13:00 ～ 16:00	中央公民館ホール	6	2	4	0	
	07	7月23日～8月20日	10:00 ～ 16:00	会議室	25	14	11	0	
内 容	01	自由に遊ぼう①							
	02	お習字教室							
	03	かいがきょうしつ							
	04	ニュースポーツ体験							
	05	英語の読み聞かせ							
	06	自由に遊ぼう②							
	07	自習室開放 7月23日～8月20日							
講 師	お習字教室：沖縄尚学高等学校・附属中学校の書道部の生徒 かいがきょうしつ：江谷 紋子、助手 國吉 雅 ニュースポーツ体験：與座 正夫 英語の読み聞かせ：金城 正子								
【講座の様子・感想】 この事業を行うことで、公民館に児童・生徒が多く訪れ、とても賑やかな公民館になる。 子どもたちは、遊ぶことはもちろんだが、お習字、お絵描きといった学習にも真剣に取り組み、ひたむきさが感じ取れ、すごく楽しかった、よくわかったという感想が聞かれ、講座を実施した意義があったと感じた。									
【成果】 ・今まで公民館を利用したことのない小学生等に、当事業で公民館を周知できている。公民館の利用するきっかけになれば良いと考える。 ・お習字教室では、沖縄尚学書道部の生徒から手ほどきを受け多世代との交流が図られ、また綺麗な字を書くことができるようになり、やればできるという大きな自信が生まれたと考える。									





6 その他の事業

〔2〕 地域学習支援講師派遣事業

年間の派遣件数：1件

派遣先：下表のとおり

1	申請団体	神原中学校PTCA
	事業名	神原トックリキワタ祭り内での講師派遣事業
	学習内容	神原中学校区の児童生徒や職員、地域の方々の連携、交流の場での防災についての学習。
	開催日時	令和6年11月23日（土）8時30分～10時30分
	開催場所	神原中学校ピロティ
	講師名	講師：宇久 ひかり
	参加人数	130人
	学習報告 (成果、反省等)	【神原中学校PTCAからの報告】 トックリキワタ祭りでは、本校生徒・職員、近隣小学校児童・職員、地域の民生員や活動団体、住人の方々が参加されて、連携交流、防災について楽しみながら学んだ。防災工作では、防災塗り絵を、親子で話し合っ て考えたり、新聞紙スリッパを作って、早速履いてみたり、終始和やかな雰囲気であった。
	学習の様子	

7 中央公民館まつり

「オープニングセレモニー」「こどもわくわくたいけんひろば」



クラウンきらら バルーンショー



第1回那覇市図書館を使った
調べる学習コンクール表彰



e スポーツ



カードゲーム



バルーンアート



凧作り・おもちゃ作り



防災ぬり絵



絵本読み聞かせ

「展示発表」他



パッチワークサークル・キルトビー



絵手紙サークル「結」



環境パネル展示



那覇市母子寡婦福祉会

「舞台発表」



琉舞サークル花ずみ会



Ukulele Pua



創作エイサー隊「天之川」



エヴァダンスア与儀



ハワイアンフラ・サークルプアケア



那覇青少年舞台プログラム



与儀吟友会



彩 風



女声合唱団「シャイニー」

第49回那覇市中央公民館まつり

こどもわくわく たいけんひろば

2025. 2.16 日 10:00-12:30

in 中央公民館ホール



10:00～はじまるよ
クラウンきらら
オープニングショー

**クラウンきらら
バルーンアート**



体験コーナーで、
お花やどうぶつを作ろう

絵本の読み聞かせ



はじまるのは
11:30～だよ

かいぎしつであそぼんの
せかいを楽しもう

手作りおもちゃづくり



作って遊べる
わくわく工作

たこづくりやかみでっぽうなど
かんたんに作れて楽しいよ♪
みんなであそびに来てね

eスポーツ&カードゲーム



スイカゲームなど
いろんなゲームで
遊ぼう！
カードゲームもあるよ
おもだちもさそって、
みんなでおいで♫

主催：中央公民館利用団体連絡協議会

2月16日
日曜日開催

	項目	内容	演者	演費 開始時間
1	オープニングセレモニー	ハルーンショー	クラウンきらら	10:00
2	あいさつ	開会のあいさつ	中央公民館利用団体連絡協議会 会長	10:20
3	表彰式	「図書館を使った調べる 学習コンクール」	中央図書館	10:25
4		ハルーンアート	クラウンきらら	10:30
5	わくわく子ども会	eスポーツ	田中 ディーン	10:30
6	子ども体験コーナー (同時進行)	風作り、おもち作り等	興座 正夫 他	10:30
7		読み聞かせ	NPO沖縄児童英語研究会 おはなしめんとく	11:30

午後の部 舞台発表 (13:30~15:30)

種 目	団 体 名	演 目 名	演舞 開始時間
1 琉舞	琉舞サークル「花ずみ会」	①かぎやで風	13:30
2 あいさつ	中央公民館	館長あいさつ	13:40
3 ウクレレ	Ukulele Pua	①カイマナヒラ ②セイシカの花 ③夜空の星	13:45
4 創作エイサー	創作エイサー隊「天之川」	①七月節（しちかちぶし） ②太閤！夏劇場 （ていーだなばつぎじょう） ③ありがとう	13:55
5 バントワリング	エヴァンジェンシア与巖	①キミに100パーセント	14:05
6 ハワイアンフラ	ハワイアンフラ・サークル フアケア①	①リリィウエ	14:15
7 琉球創作ダンス	那覇青少年舞台プログラム	①ジンカヌチャー ②ダイナミック琉球	14:25
8 休憩			14:40
9 詩吟	与儀吟友会	①九月十日 合吟 ②不揃庵機山を討つつの図に題す ③東海朝暈	14:50
10 エイサー	彩風	①くたか ②イロトリドリ ③オジョー自慢のオリオンビール	15:00
11 ハワイアンフラ	ハワイアンフラ・サークル フアケア②	①メレオハナ	15:10
12 合唱	ハ声合唱団 「シャニーン」	①通生の宿（ほにゅうのやど） ②故郷（ふるさと） ③上を向いて歩こう	15:20
13 閉会	司会者 那覇青少年舞台プログラム		15:30

1	バッチワーク	バッチワークサークル キルトビー
2	結手紙	結手紙サークル「結」

ホールにて展示しています。